


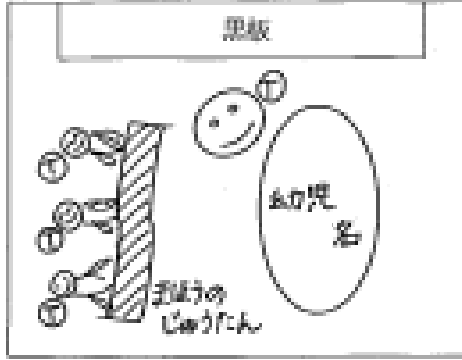
保育指導計画


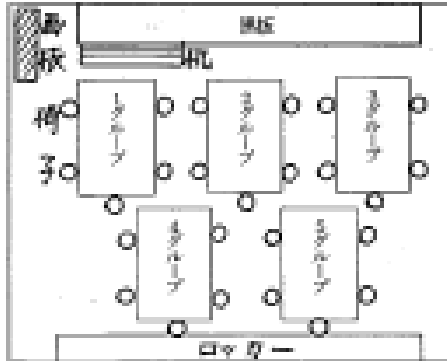
指導者 広島市立〇〇幼稚園
教諭 〇〇 〇〇


- 1 期 日 平成 30 年 〇〇月 〇〇日 (〇) ~ 〇〇月 〇〇日 (〇)
- 2 時 間 〇〇時〇〇分~〇〇時〇〇分 (予定)
- 3 目 的 5歳児の言葉を発する関わりのある場面において、幼児の「話す・聞く・伝え合う」の育ちの見取り表を基に、幼児の姿を見取り、育ちに応じた適切な援助をすることで、幼児の言葉による伝え合いを育む。
- 4 対象児 5歳児 〇〇組 (男児 〇〇名, 女児 〇〇名 計 〇〇名)
- 5 場 所 広島市立〇〇幼稚園 〇〇組保育室
- 6 活 動 紙芝居を作ろう
- 7 幼児の姿と教師の援助
- 8 抽出児の実態
- 9 ねらい
 - 紙芝居作りを通して、相互に伝え合う喜びを味わう
(幼児の具体的な姿)
 - ・ 同じ経験をしていない友達に対しても会話が続く
 - ・ 決まりや約束を話し合う
 - ・ 自分が今まで経験したことを土台にして想像力を膨らませ、相手が話している内容と同じイメージを共有する
 - ・ 見た絵本、紙芝居を題材にして話し合い、考え合う
- 10 指導にあたって
 - 「幼児の『話す・聞く・伝え合う』を育む教師の援助」を基に、援助を行う。(別紙2)
 - 幼児の伝え合いを育てる場面において、発表の場を設け、みんなで伝え合う場を作る。
 - 「活動の理解者」「協同作業者」「モデル」「遊びの援助者」の4つの視点から、教師の援助を行い、幼児に伝え合う体験をさせる。

日時 平成30年 ○○月○○日(○)～平成30年○○月○○日(○) ○○時○○分～○○時○○分
場所 広島市立○○幼稚園 保育室
対象児 5歳児 ○○組 ○○名(男児○○名 女児○○名 計○○名)
活動 紙芝居を作ろう

ねらい☆と内容★	☆ 紙芝居作りを通して、相互に伝え合う喜びを味わう ★ 同じ経験をしていない友達に対しても会話が続く ★ 決まりや約束を、話し合う ★ 自分が今まで経験したことを土台にして想像力を膨らませ、相手が話している内容と同じイメージを共有する ★ 見た絵本、紙芝居を題材にして話し合い、考え合う				準備物…15 cm×15 cmの用紙, 45 cm×45 cmの白画用紙, 色鉛筆, 画板 …寸劇用じゅうたん, 寸劇用帽子と服, 絵カード 他 幼児の準備物…パス, マーカー, スモック 他		
時間	主な活動	予想する幼児の姿 ※太字は「幼児の『話す・聞く・伝え合う』の育ちの見取り表」から				教師の援助 ※太字は「幼児の『話す・聞く・伝え合う』を育む教師の援助」から	環境構成
		話す	聞く	伝え合う	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児と共に楽しむ…<0-1> ・ 幼児同士の共通体験をさせる…<0-2> ・ 絵本の世界に入り、イメージがしやすいように、楽しい雰囲気を作る ・ 幼児の好奇心に、言葉で応答する…<聞く㊦1> ・ 落ち着いた雰囲気を作り、幼児一人一人が絵本や物語の世界に浸り込めるようにする …<話す㊦1><聞く㊦1> ・ リズム言葉で幼児の頭と心と身体を刺激させる…<話す㊦2><聞く㊦2> ・ 幼児同士の話を引き出し、そのやり取りをみんなに返す…<聞く㊦4> ・ 絵本から想像上の世界や未知の世界に出会い、様々な思いを巡らし、その思いを共有する …<聞く㊦5> ・ 絵本の内容に興味をもてるように、教師が役になりきって、声のトーンや間の取り方に注意して、読み聞かせをする ・ 興味のある話をする…<聞く㊦1> ・ 内容や伝え方を工夫する…<聞く㊦2> ・ 友達の話聞く場をつくる…<聞く㊦3> ・ 「聞く」態度や意欲が増すような環境づくりをする…<聞く㊦4> ・ 絵本や物語などを見たり、聞いたりすることで、言葉の楽しさや美しさに気付かせる…<聞く㊦5> 	<教師の話聞く>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本の位置は、全体の幼児に見えるような角度と、高さを考慮する

時間	主な活動	予想する幼児の姿 ※太字は「幼児の『話す・聞く・伝え合う』の育ちの見取り表」から			教師の援助 ※太字は「幼児の『話す・聞く・伝え合う』を育む教師の援助」から		環境構成
	<p>○紙芝居作りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸劇を見て、オリジナルストーリーのイメージをもつ ・寸劇の続きを自分で作ることを伝える ・自分のイメージしたお話を描く 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を聞いて、感じたことを話す (思い・考え) ・見たり聞いたりしたことを考えて話す (思い・考え) ・見たり聞いたりしたことを人に分かりやすく話す (思い・考え) ・自分の思ったことや考えたことを話す (思い・考え) ・喜びや楽しさを声や言葉に出す (思い・考え) ・喜びや楽しさを言葉で表現する (思い・考え) ・自分の描いたイメージを言葉に表す (思い・考え) ・寸劇を聞いて、感じたことを言葉に出す (思い・考え) ・寸劇を聞いて、感じたことを話す (思い・考え) 	<ul style="list-style-type: none"> ・話のストーリーに沿って聞く (絵本・話) ・お話のおもしろさや楽しさが分かり、聞く (絵本・話) ・教師が何を主に話したかが分かる (教師の話) ・教師が何を主に話したか、何が大事なことが分かり、聞く (教師の話) ・友達の話聞く (教師の話) 	<ul style="list-style-type: none"> ・寸劇のおもしろさや楽しさを感じる ・自分達で紙芝居を作ることへの期待感をもつ ・自分のイメージしたお話を、楽しみながら描く ・何をどのように作るのかが理解することができず、不安な気持ちがある 		<ul style="list-style-type: none"> ・寸劇の全体がよく見えるように、幼児の見る場所から少し距離をおく。また、安全に配慮し、寸劇する場所を広く確保するなどして、環境を整えておく ・寸劇を見て、幼児一人一人がイメージしたことを話したときは、しっかりと気持ちを受け止め、満足感が味わえるようにする ・幼児の話をしっかり聞く…<話す㊦1> ・幼児一人一人の感じたことを大切に…<話す㊦2> ・驚きの言葉に共感し、丁寧に言葉にする…<話す㊦3> ・幼児の言葉を待つ…<話す㊦4> ・幼児に、ゆったりとした態度で言葉をかける…<話す㊦5> ・幼児の活動や表情から心情を読み取り、言葉に置きかえる…<話す㊦6> ・幼児の動きを支えた表情を受けとめ、積極的に理解する…<話す㊦7> ・理解することができない幼児には、何をどのように作るのかが分かるように、側に寄り添いながら、幼児がイメージしたものを、一緒に描いていく ・容易に描き直したり、考え直したりできるように、幼児の扱いやすい大きさの紙を用意しておく ・幼児のイメージを言語化したり、膨らませたりするような手助けになるように、言葉をかける ・描く素材は、幼児自身が日頃から身近に感じているパスや色鉛筆などを使うように指示する ・落ち着いた雰囲気を作り、一人一人が絵本や物語の世界に浸り込めるようにする …<話す㊦1><聞く㊦1> ・リズム言葉で幼児の頭と心と身体を刺激させる…<話す㊦2><聞く㊦2> ・幼児の好奇心を受けとめ、言葉で応答する…<話す㊦3> 	<p><寸劇></p> 

時間	主な活動	予想する幼児の姿 ※太字は「幼児の『話す・聞く・伝え合う』の育ちの見取り表」から				教師の援助 ※太字は「幼児の『話す・聞く・伝え合う』を育む教師の援助」から	環境構成
		話す	聞く	伝え合う	その他		
	<ul style="list-style-type: none"> グループで集まる 自分の考えたお話を話す 友達の考えたお話を聞く 			<ul style="list-style-type: none"> ・友達と気持ちや意思を伝え合う (言葉によるやり取り) ・同じ経験をしていない友達に対しても会話が続く (言葉によるやり取り) ・自分の思いを出しつつも、相手の意図にも気付く (言葉によるやり取り) ・お互いに思ったことを言っ、考え合う (言葉によるやり取り) ・決まりや約束を話し合う (言葉によるやり取り) ・友達と簡単な言葉のやり取りをする (言葉によるやり取り) ・幼児同士で、会話が成立する (言葉によるやり取り) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで集まることを楽しみにする ・友達同士でイメージが共有できず、言葉が出なかったり、イメージがもてず、不安になる姿が見られる 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が、事前に幼児同士が話しやすいようにメンバー構成し、グループづくりをしておく ・何を話すか分からない幼児には、個々に話す内容を理解させたり、側に寄り添い、考えを出せるように言葉を添えていく ・幼児の好奇心に、言葉で応答する…<聞く㊦1> ・落ち着いた雰囲気を作り、一人一人が絵本や物語の世界に浸り込めるようにする…<聞く㊦1> ・リズム言葉で幼児の頭と心と身体を刺激させる…<話す㊦2><聞く㊦2> ・幼児と共に遊ぶ…<聞く㊦3> ・幼児同士の話を引き出し、そのやり取りをみんなに返す…<聞く㊦4> ・絵本や物語から、想像上の世界や未知の世界に出会い、様々な思いを巡らし、その思いを共有する…<聞く㊦5> ・幼児と共に聞く…<聞く㊦1> ・友達の話を聞く場をつくる…<聞く㊦3> ・「聞く」態度や意欲が増すような環境づくりをする…<聞く㊦4> ・グループで集まって話しやすいように、机や椅子を用意し、落ち着いた場を作り、環境を整えておく ・事前に、スモックを着るように促し、画板やパスを用意させておく ・グループで伝え合いができる体勢になっているか、見守りながら、話が出にくいグループについては仲介に入り、教師が声をかける等して、グループの友達との間をつなぐようにする ・個人差について受容し、幼児の言動をよく観察し安心して話すことのできる場を提供する…<伝え合う㊦5> ・なかなか一つの内容に決まらないグループについては、無理に一つにまとめるのではなく、どのようにしたいか幼児が話していけるようにする ・幼児の気持ちに添って会話をすることで、親しみを感じてもらえる…<伝え合う㊦1> ・幼児と一諸に行動をしたり、やり取りをする…<伝え合う㊦1> 	<p><グループ活動> 1 1グループ5名</p>  <p>※ 保育室の中で、グループごとに話しやすい場所を自由に決め、集まる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室の環境を広くしておく ・幼児の要望に応じて、仕切りをしたり机を出したりする <p><グループ活動> 2</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・グループの友達の顔が見られるように机を用意し、落ち着いて話ができるようにする ・自分のロッカーから、パスを用意させる ・当番を中心に、協力をして画板の用意をする

時間	主な活動	予想する幼児の姿 ※太字は「幼児の『話す・聞く・伝え合う』の育ちの見取り表」から				教師の援助 ※太字は「幼児の『話す・聞く・伝え合う』を育む教師の援助」から		環境構成
		話す	聞く	伝え合う	その他			
				<ul style="list-style-type: none"> 共有物を介して相手の発話に応じた返答を行う (言葉によるやり取り) 幼児同士で、会話が成立する (言葉によるやり取り) 数日前に互いが共通して体験した日常性の高い出来事について、伝え合う (言葉によるやり取り) 自分が今まで経験したことを土台にして想像力を膨らませ、相手が話している内容と同じイメージを共有する (言葉によるやり取り) 	<ul style="list-style-type: none"> お話のイメージが湧かない お話のイメージは湧くが、絵が描けない 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちを的確に言葉で表現することが難しい幼児に対し、その気持ちに寄りそう …<伝え合う②> 状況に応じた適切な言葉の表現をする…<伝え合う①> 幼児に獲得して欲しいと願う言葉を、日頃から積極的に使う…<伝え合う②> 言葉を交わす喜びや豊かな表現などを伝えるモデルとしての役割を果たす…<伝え合う③> 落ち着いた場の設定をする…<伝え合う①> 周囲の人々の会話の仕方や話し方を聞くことができるように場を作る…<伝え合う②> 友達同士で自由に話せて、心の交流が図られるように環境を構成する…<伝え合う③> やり取りでは、幼児が自分の気持ちを表出し、相手の気持ちを受け入れられるように手助けをする …<伝え合う④> 個人差について受容し、幼児の言動をよく観察し安心して話すことのできる場を提供する …<伝え合う⑤> やり取りから活動が共有されていく満足感が味わえるようにする…<伝え合う⑥> 心を傾けて、幼児の話や、その背景にある思いを聞く…<伝え合う⑦> 状況に応じて仲立ちをして言葉を付け加えたり、思いを尋ねていくことで、話が伝わり合うようにする …<伝え合う⑧> 幼児同士の会話が弾むように他の幼児と思いの共有をする…<伝え合う⑨> お話を見たり、聞いたりすることで、言葉の楽しさや美しさに気付かせる…<聞く⑤> 		
	・発表する	<ul style="list-style-type: none"> 見たり聞いたりしたことを考えて話す (思い・考え) 見たり聞いたりしたことを人に分かりやすく話す (思い・考え) 	<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居の話のストーリーに沿って聞く (絵本・話) 紙芝居のおもしろさや楽しさが分かり、聞く (絵本・話) 	<ul style="list-style-type: none"> 見た絵本や紙芝居を題材にして話し合い、考え合う (言葉によるやり取り) 	<ul style="list-style-type: none"> グループで考えたことをみんなの前で話す 	<ul style="list-style-type: none"> グループの様子を見ながら、発表の準備が整ったグループから発表ができるように順番を決める 言葉を出しにくいグループは、再度まとめる時間の確保をするなどして、グループに応じて臨機応変に対応する 紙芝居作りやグループでの話し合いの中で、個々で頑張ったところや協力出来たことを認めていくと共に、全体にも伝え、自信や満足感を味わわせるようにする 	<p><発表></p> 	

時間	主な活動	予想する幼児の姿 ※太字は「幼児の『話す・聞く・伝え合う』の育ちの見取り表」から				教師の援助 ※太字は「幼児の『話す・聞く・伝え合う』を育む教師の援助」から	環境構成
		話す	聞く	伝え合う	その他		
	・片付ける	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喜びや楽しさを声や言葉に出す (思い・考え) ・ 喜びや楽しさを言葉で表現する (思い・考え) ・ 紙芝居にしたものを、言葉で発表する (思い・考え) 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と協力して片付けようとしている姿を認め、言葉で伝えていく 	